

第1章 びんご未来ワークショップ開催概要

1.1 背景と目的

備後圏域では、2025年度（令和7年度）から2029年度（令和11年度）を計画期間とする「第3期びんご圏域ビジョン」の策定を行っています。

今後、少子高齢化を伴う人口減少やインフラの老朽化等が深刻化するなど、資源が制約される中で持続可能な行政サービスを提供していくためには、様々な主体がどのような未来を実現したいのか等を議論し、ビジョンを共有していくことが重要です。

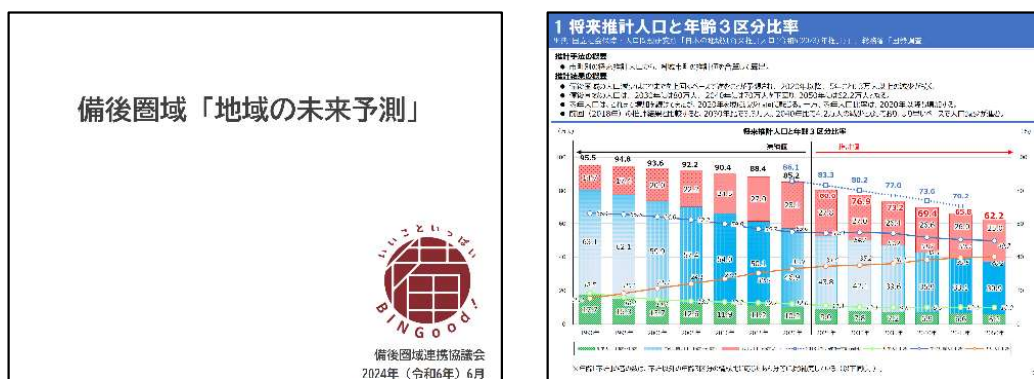
このため、第3期びんご圏域ビジョンの策定に向けて、本圏域では「備後圏域 地域の未来予測」を作成するとともに、圏域住民と備後圏域のめざす未来像などの議論を行う「びんご未来ワークショップ」を開催しました。

○参考

【備後圏域 地域の未来予測】

「地域の未来予測」とは、人口や施設・インフラのほか、子育て・教育、医療・介護などの分野において、地域が直面する変化や課題の長期的な見通しを客観的データに基づいて整理するものです。各分野の推計は、総務省の「地域の未来予測に関する検討ワーキンググループ報告書」で示されている方法に基づいて行いました。

図表 1-1 地域の未来予測

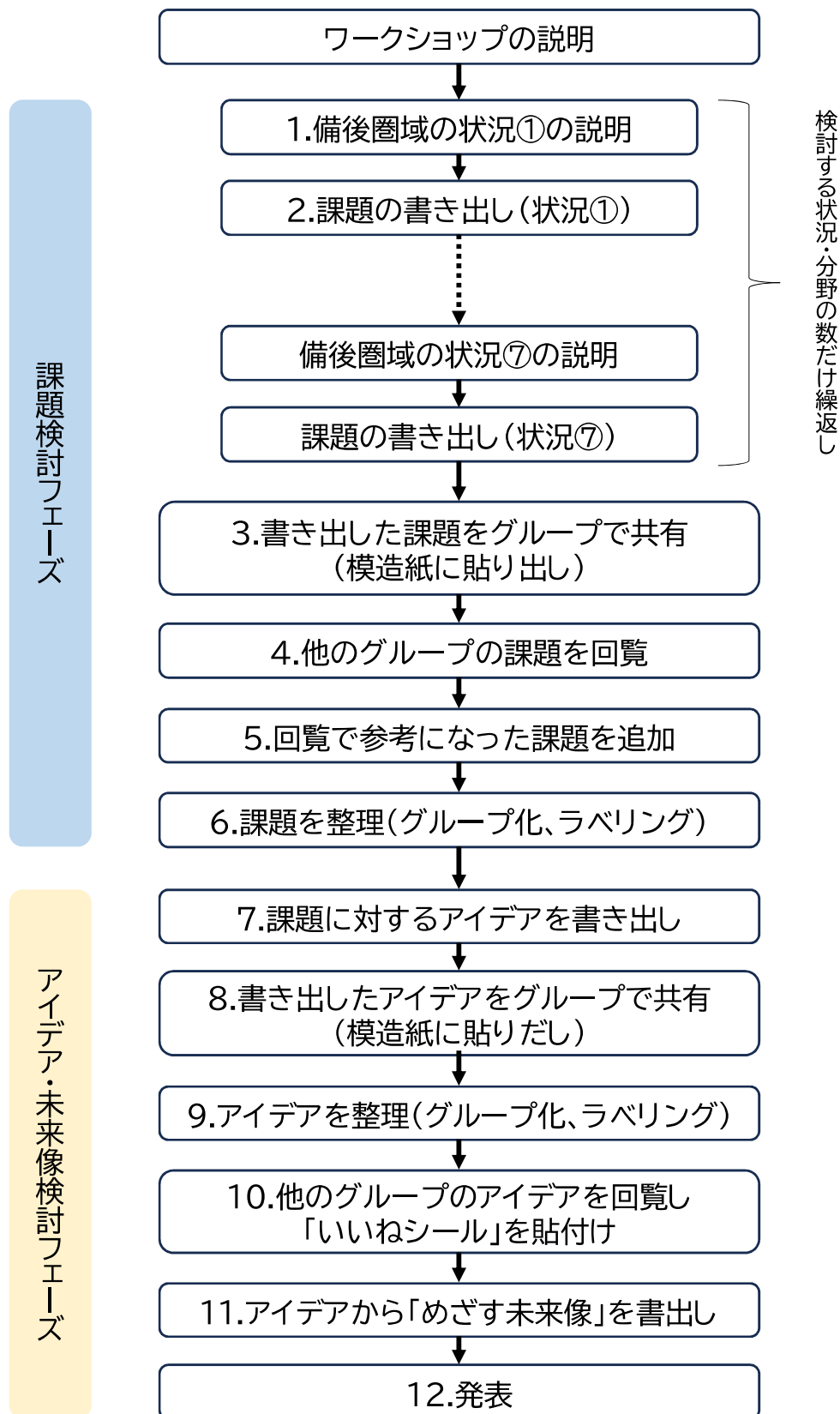


1.2 実施方法

(1) ワークショップの流れ

「びんご未来ワークショップ」の全体の流れは以下のとおりです。

図表 1-2 ワークショップの全体フロー



図表 1-3 ワークショップのタイムスケジュール(福山市会場)

時刻	時間	(時間)	内容	詳細など
14:00	0:02		開会	
14:02	0:03		福山市長あいさつ	
14:05	0:02		神石高原町長あいさつ	
14:07	0:03		ワークショップの流れの説明	
14:10	0:18		備後圏域の説明(これまでの取組等) アイズブレイク	備後の地域性を混ぜ込んだアイズブレイク (おすすめスポット・自分と備後のつながり 等)
14:28	0:01		「地域の未来予測」についての説明	作成経緯・趣旨 など
14:29	0:40	0:07	個人ワーク①-1 将来推計人口	説明4分、個人ワーク3分
14:36		0:08	個人ワーク①-2 産業・農林水産業、観光	説明4分、個人ワーク4分
14:44		0:04	個人ワーク①-3 高度医療	説明2分、個人ワーク2分
14:48		0:06	個人ワーク①-4 都市基盤、高等教育	説明3分、個人ワーク3分
14:54		0:06	個人ワーク①-5 医療・福祉・介護サービス、健康づくり、出産・子育て	説明3分、個人ワーク3分
15:00		0:05	個人ワーク①-6 安心・安全、環境、エネルギー	説明3分、個人ワーク2分
15:05		0:04	個人ワーク①-7 地域振興、歴史・文化・教育・スポーツ	説明2分、個人ワーク2分
15:09	0:05		休憩(グループワーク準備)	
15:14	0:02		グループワークについての説明	
15:16	0:27	0:15	グループワーク①-1 備後圏域の課題について	個人ワークの付箋をグループ模造紙に展開 他の参加者と意見交換しながら、課題を追加
15:31		0:05	グループワーク①-2 他グループ回覧(ジグソー方式)	決められた1つのグループに個人で移動
15:36		0:07	グループワーク①-3 課題の充実・完成(他グループ課題の追加)	模造紙を枠囲い・グルーピング
15:43	0:36	0:10	個人ワーク② 課題解決に向けたキーワード	上記の課題を踏まえて、対応するキーワードを書き出し
15:53		0:16	グループワーク② 課題解決に向けたキーワード	キーワードを書き出し・グルーピング
16:09		0:10	いいねシール貼付(他グループ回覧)	シールは1人につき5枚
16:19	0:17	0:17	グループワーク③ キーワードから「めざす未来像」の書き出し・発表準備	いいねシールが多いキーワード等を参考に、「めざす未来像」を書き出し
16:36	0:16	0:02	A～Hグループ発表	「●●な備後圏域」という、「めざす未来像」を発表 (各グループ模造紙全体に対して1つずつ)
16:52	0:01		倉阪教授 講評	
16:53	0:02		福山市職員あいさつ	
16:55	0:05		記念撮影	
17:00	1:00		閉会・解散・片付開始	
18:00			完全撤収	

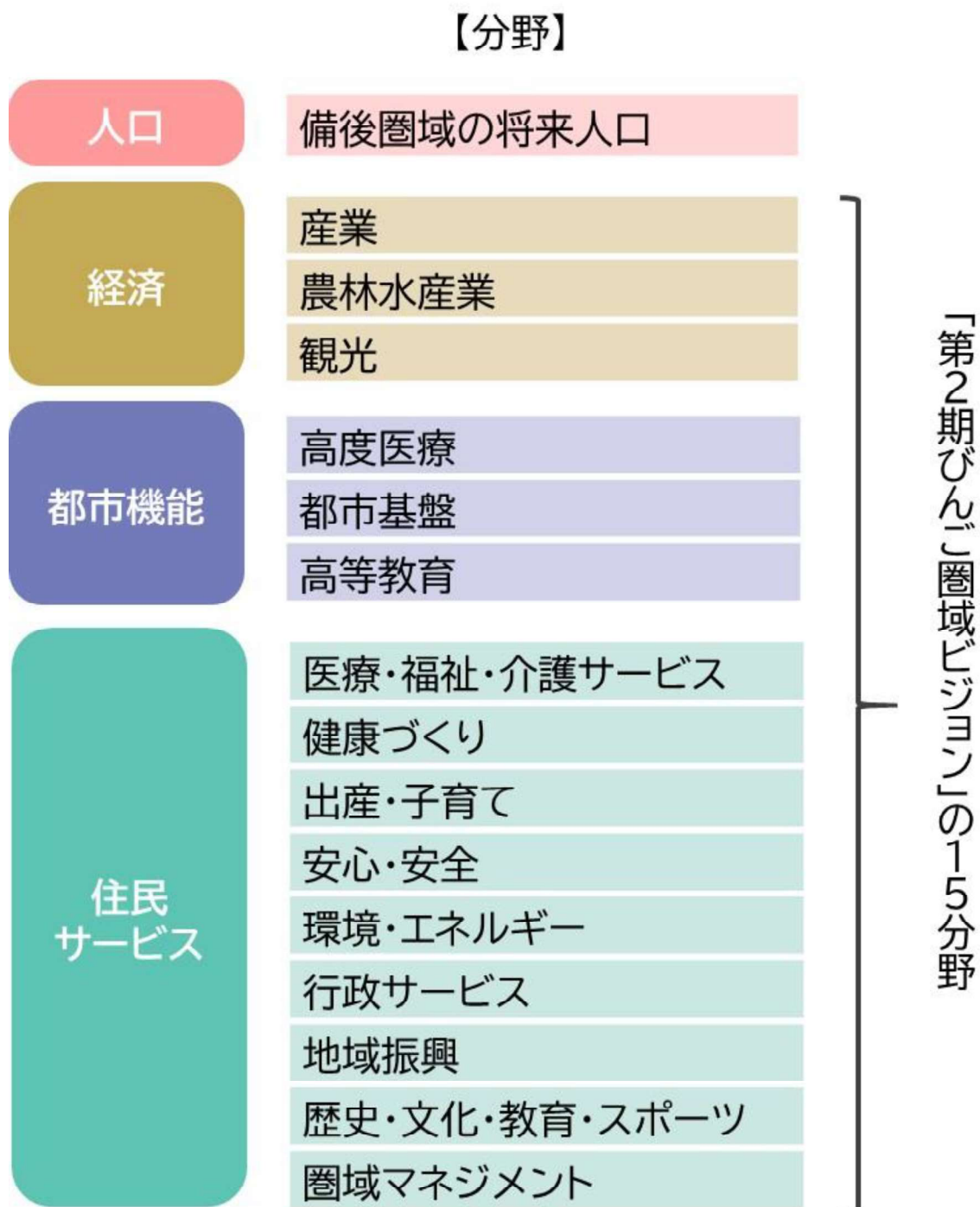
ファシリテーター：千葉大学大学院社会科学研究室 倉阪秀史教授

(「地域の未来予測に関する検討ワーキンググループ」委員)

(2) 検討分野について

ワークショップでは、「人口」と「第2期びんご圏域ビジョンの15分野」について、将来予測される課題などを議論しました。

図表 1-4 ワークショップの検討分野



1.3 参加者の募集

圏域市町から多くの住民が参加できるよう、福山市、三原市、井原市の3会場で行いました。参加者の募集にあたっては、各市町の広報紙やHP、SNSなどの活用のほか、高校や大学など関係団体への周知を行いました。また、ビジョン策定に係る住民アンケートに募集チラシを同封するなど、多くの圏域住民へ呼びかけを行いました。

図表 1-5 参加者募集等のスケジュール

6月				7月				
	26日	・・・	28日	・・・	15日	・・・	20日	21日
市町広報による案内 →								
関係団体への案内 →								
アンケート回答者への案内 →								
	募集締め切り		参加決定通知・案内状送付		ワークショップ① (福山市会場)		ワークショップ② (三原市会場)	ワークショップ③ (井原市会場)

図表 1-6 ワークショップ募集チラシ

専門知識不要!! 今年7月開催 **びんご未来ワークショップ** 高校生や大学生歓迎!!

自分たちの街の未来を一緒に考えませんか?

地方から大都市圏へ若者が流出し、人口減少が進む中、わたしたちがいつまでも住み続けたいと思える街にするにはどうしたらいいのか? これからの備後圏域はどのような未来をめざすべきなのか? 住民の皆でその視点で話し合い、検討していただくことを目的とした「ワークショップ」を開催します。

応募締切 6月26日 (水) 必着

どんなことをするの?

STEP1

備後圏域の現状とこれまでの取組について説明します。

STEP2

備後圏域「地域の未来予測」※を踏まえ、将来の課題について議論していただきます。

STEP3

将来の課題を踏まえて、備後圏域の「めざす未来像」をグループでまとめていただきます。

※「地域の未来予測」：地域が直面する変化や課題についての長期的な見直しを、資料やデータに基づいて整理したもの

備後圏域とは？

三原市・尾道市・福山市・府中市・竹原市・世羅町・神石高原町・笠岡市・井原市、この7市2町からなるのが「備後圏域」です。

この地域の強みや特性を生かして、デニムやぶどう(ワイン)など、共通する地域資源の魅力向上や、ものづくり技術を生かした産業振興、子育て・医療分野などの連携強化に取り組んでいます。

裏面へつづく

開催概要

【日時・場所】
どの会場にもご参加いただけます。
①7月15日(月・祝) 14:00~17:00
場所：福山市役所
②7月20日(土) 14:00~17:00
場所：三原市役所
③7月21日(日) 14:00~17:00
場所：井原市 地域産業振興センター
※報酬や交通費などの支給はありません。

【応募】 応募が切: 6月26日(水) 必着
◆WEB(インターネット)
QRコードから応募フォームにアクセスし、必要事項を入力の上、送信してください。
◆郵送
下記に必要事項をご記入の上、別途ご記入いただいたアンケート調査票とともに、同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。
◆持参
下記に必要事項をご記入の上、各市町の窓口にお持ちください。

【対象】 (三原市、尾道市、福山市、府中市、竹原市、世羅町、神石高原町、笠岡市、井原市)
備後圏域に在住の方
三原市 経営企画課 尾道市 政策企画課
福山市 備後圏域連携推進室 府中市 政策企画課
竹原市 企画政策課 世羅町 企画課
神石高原町 政策企画課 笠岡市 企画政策課
井原市 企画振興課

【問い合わせ先】
福山市 企画政策課 企画政策部 備後圏域連携推進室
TEL: 084-928-1295(直通)
E-mail: bingog@city.fukuyama.hiroshima.jp

詳しくはHPでもご確認ください。 **びんご未来ワークショップ**

切り取り線

＜びんご未来ワークショップへの応募用紙＞

注1) ※印の項目は、必ずご記入ください。未記入の場合は応募受付をしかねますので、ご了承ください。
注2) ご記入いただいた個人情報、参加者の募集・住民ワークショップの運営以外の目的には一切使用いたしません。

ふりがな※	年齢※	性別※	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない
名前※	〒	〒	〒
管理番号・連絡先 (※必ず記入してください)	電話番号※	Eメール アドレス	【住所などを正確に記入してください】
住所※	職業※ (○を記入ください)	1. 高校生 2. 大学生 3. 会社員(公務員、自営業、パートなど含む) 4. その他	
応募理由※	参加を希望する 会場※ (※複数希望の場合は、希望の会場を ご記入ください)	第1希望 第2希望 第3希望	※各会場の申し込み状況によって、第1希望の会場以外での参加をお願いする場合がございます。 参加可能な第2・第3希望のご記入もお願いします。

【備考・結果のお知らせ】
・ご応募いただいた方が多数の場合、応募者全体の男女比や年齢構成、地域構成などのバランスを総合的に勘案して決定させていただきますので、あらかじめご了承ください。定員：各会場 20名程度(後回し20名程度)
・ご応募いただいた方を全員に、令和6年6月下旬ごろにもメールまたは書面で通知いたします。

【その他の注意事項】
・ワークショップの参加に伴う報酬や交通費などの支給はありません。
・ご参加いただいた応募者には、参加費を支払いません。
・当日は報道機関などによる撮影が入る可能性があります。各メディアに公開される可能性のある点について、ご了承ください。

1.4 参加状況

計 92 名が参加しました。男女別、年齢別、居住市町別、職種別の参加者数は以下のとおりです。

(1) 全体

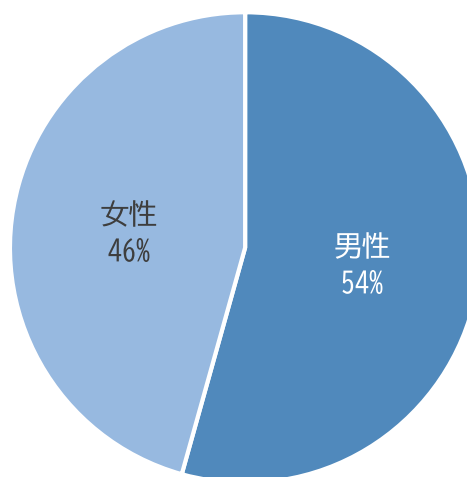
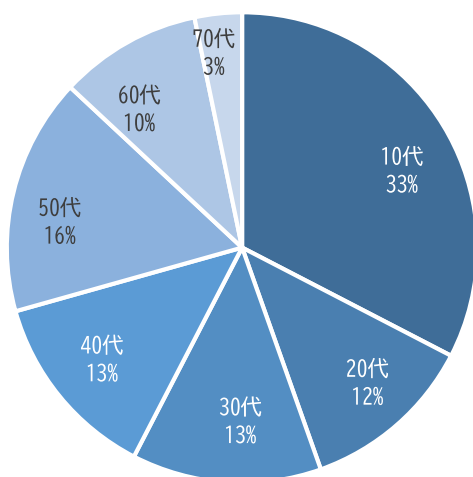
(ア) 男女年齢階層別

男女年齢偏らず、幅広い年齢層が参加しました。特に、備後圏域の将来を担う 10 代の参加が多い結果となっています。

図表 1-7 参加状況（男女年齢階層別）

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	合計
全体	30	11	12	12	15	9	3	92
男性数	14	4	9	7	8	6	2	50
女性数	16	7	3	5	7	3	1	42

※応募数は 103 名（当日は様々な都合で不参加）

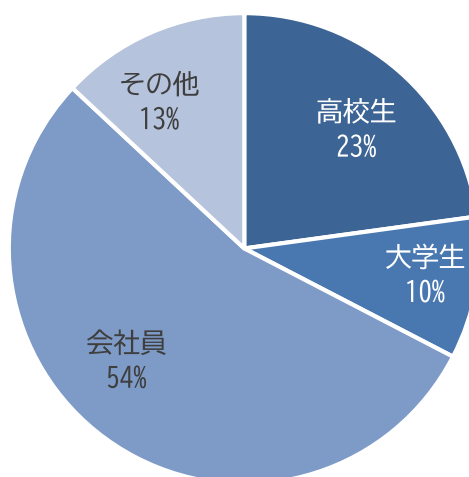


(イ) 男女職種別

会社員が最も多く、次いで高校生の参加者が多くなっています。

図表 1-8 参加状況（男女職種別）

	高校生	大学生	会社員	その他	合計
全体	21	9	50	12	92
男性数	9	3	30	8	50
女性数	12	6	20	4	42

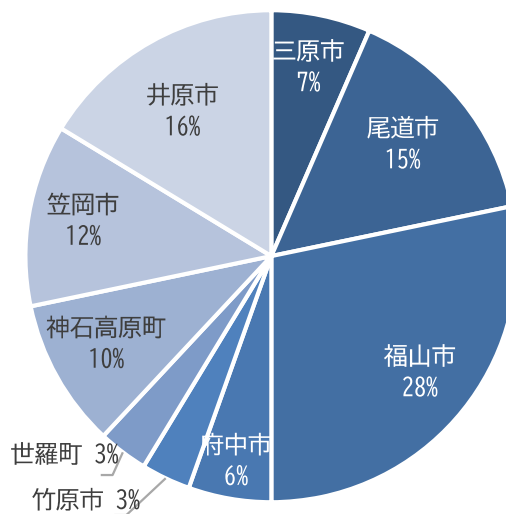


(ウ) 市町別（居住地域）

福山市が最も多くなっていますが、圏域内全ての市町の住民が参加しています。

図表 1-9 参加状況（市町別）

	三原市	尾道市	福山市	府中市	竹原市	世羅町	神石高原町	笠岡市	井原市
全体	6	14	26	5	3	3	9	11	15



(2) 会場別

(ア) 福山市会場

会場名	場所	開催日時	参加者数
福山市会場	福山市役所	7月15日(月・祝) 14:00~17:00	40人

参加者内訳

【年齢階層】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
全体	13	5	5	5	7	4	1	40
男性	6	2	2	2	4	3	0	19
女性	7	3	3	3	3	1	1	21

【職業】

	高校生	大学生	会社員	その他	合計
全体	9	4	20	7	40
男性	5	0	11	3	19
女性	4	4	9	4	21

【市町】

三原市	尾道市	福山市	府中市	竹原市	世羅町	神石高原町	笠岡市	井原市	合計
0	6	19	5	0	0	7	2	1	40



(イ) 三原市会場

会場名	場所	開催日時	参加者数
三原市会場	三原市役所	7月20日(土) 14:00~17:00	25人

参加者内訳

【年齢階層】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
全体	5	2	4	6	5	3	0	25
男性	1	1	4	4	3	1	0	14
女性	4	1	0	2	2	2	0	11

【職業】

	高校生	大学生	会社員	その他	合計
全体	5	0	19	1	25
男性	1	0	12	1	14
女性	4	0	7	0	11

【市町】

三原市	尾道市	福山市	府中市	竹原市	世羅町	神石高原町	笠岡市	井原市	合計
6	8	4	0	3	3	1	0	0	25



(ウ) 井原市会場

会場名	場所	開催日時	参加者数
井原市会場	井原市地場産業振興センター	7月21日(土) 14:00~17:00	27人

参加者内訳

【年齢階層】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
全体	12	4	3	1	3	2	2	27
男性	7	1	3	1	1	2	2	17
女性	5	3	0	0	2	0	0	10

【職業】

	高校生	大学生	会社員	その他	合計
全体	7	5	11	4	27
男性	3	3	7	4	17
女性	4	2	4	0	10

【市町】

三原市	尾道市	福山市	府中市	竹原市	世羅町	神石高原町	笠岡市	井原市	合計
0	0	3	0	0	0	1	9	14	27

